

▼パージェタ点滴静注 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 ペルツズマブ (遺伝子組換え) pertuzumab (genetical recombination) 【分類】 抗悪性腫瘍剤 [抗 HER2 ヒト化モノクローナル抗体]

【単位】 ▼420mg/V [14mL]

【常用量】 ■1 日 1 回初回投与時には 840mg, 2 回目以降は 420mg を 60 分かけて 3 週間間隔で点滴静注 [忍容性により, 2 回目以降は 30 分点滴が可]

■他の抗悪性腫瘍剤と併用する

【用法】 生食 250mL に希釈し, 点滴静注

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし [設定されていない] (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要なし [設定されていない] (1)

【その他の報告】血清 Alb と徐脈が体重が CL に関連するが (腎機能は関連しない), それらによる投与量調節は必要ない (Garg A, et al: Cancer Chemother Pharmacol 74: 819-29, 2014 PMID: 25119184)

【特徴】 HER2 の細胞外領域ドメイン II に特異的に結合し, 細胞内のシグナル伝達系を阻害して, 細胞増殖抑制やアポトーシス, ADCC 活性を誘導するヒト化モノクローナル抗体. 他の悪性腫瘍剤と併用で MMK に適用される.

【主な副作用・毒性】 投与時関連反応, 心機能障害, 白血球減少, アナフィラキシー, 間質性肺疾患, ニューロパシー, 流涙増加, 頭痛, めまい, 視力障害, 下痢, 悪心, 呼吸困難, 脱毛, 肝障害, 倦怠感等多数.

【代謝】 イムノグロブリンの代謝経路により代謝消失すると推測 (1)

【排泄】 尿中に未変化体は排泄されないとされる (1)

【CL】 5mL/day/kg (1) 0.235 L/day (Garg A, et al: Cancer Chemother Pharmacol 74: 819-29, 2014 PMID: 25119184)

【t1/2】 11~16 日 (1) 18 日 (Garg A, et al: Cancer Chemother Pharmacol 74: 819-29, 2014 PMID: 25119184)

【蛋白結合率】 資料なし (1)

【Vd】 90mL/kg (1) 3.11L/man (Garg A, et al: Cancer Chemother Pharmacol 74: 819-29, 2014 PMID: 25119184)

【MW】 148000

【透析性】 資料なし (1) 分子量が大きく, 除去されないとされる (5)

【備考】 投与量は体格を考慮しなくて良い. パージェスタとハーセプチンはどちらが先でもよい.

【更新日】 20170130

※正確な情報を掲載するように努力していますが, その正確性, 完全性, 適切性についていかなる責任も負わず, いかなる保証もいたしません. 本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし, それらを利用した結果, 直接または間接的に生じた一切の問題について, 当院ではいかなる責任も負わないものとします. 最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください.

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます. すべての内容は, 日本国著作権法並びに国際条約により保護されています.